

平成31年度 第2回 高山市総合計画審議会 会議録（要旨）

日 時：令和2年2月5日（水） 14時00分～16時00分

場 所：高山市役所4階 特別会議室

出席者：高山市総合計画審議会委員 22名（欠席者4名） ※別紙名簿のとおり
高山市長、高山市副市長、企画部長、企画課長、
企画課担当監、企画課係長、企画課担当

会議内容（次第）

1. 開会

2. 市長あいさつ（市長）

3. 会長あいさつ（堀会長）

4. 諮問

市長から堀会長に第八次総合計画基本計画の変更（案）諮問

5. 議事（議長：堀会長）

(1) 第八次総合計画基本計画の変更について

資料に基づき事務局が説明

議長（堀会長）

- 今回、市長から諮問を受けており、皆さんの意見を踏まえて答申をさせていただきたいと思っている。
- 先般開催した、地方創生に関する有識者会議において、同じ内容で協議し、了承いただいております、その内容も踏まえて皆さんと協議したい。

菘谷委員

- 子どもを預けられなくて働きたくても働けない方や、生活水準が上がってくればもう1人子どもを欲しいといった声も最近聞くことがある。
- 男女共同参画がすすめられ女性の働く環境も整ってきてはいるが、もう少し力を入れていただきたい。
- 移住に対するアンケートでは、収入が悪化した人が多い一方で、生活全般の満

足度は高いと回答する人も多くなっているがどのような結果だったのか。

清水企画課担当監

- 収入は減ったというご意見がある中で、幸福な暮らしの実感、生活全般についてはとても良くなったという方が半数程度みえるという状況になっている。

西永委員

- 少子高齢化を止めるための目標として、合計特殊出生率や社会増減に対し目標を設定しているが、これらを達成するには、思い切った政策が必要である。
- 新しい取り組みをしようとしても、なかなか具体化しないことが見受けられる。
- 子ども・子育ての問題、高齢者の活用など、様々な提案をしていくので推進してもらいたい。

田谷企画部長

- 今回の総合計画の見直しにおいては、長期的な視点を持ちながら今後の方向性について、市民や様々な団体、事業者などと共通認識を持ちながら、まちづくりをすすめていきたいという想いですすすめてきた。
- 総合計画では大きなまちづくりの方向性を示し、各分野における施策については個別計画に委ねている。
- 人口ビジョンとして、人口減少の進展に対し、合計特殊出生率の向上や社会増減の改善などにより、年少人口や生産年齢人口の割合を改善していくという考え方を示させていただいている。
- 子育て世代の負担の軽減や移住施策など、具体的な施策については個別計画や実施計画でも示しながらすすめていく。

京極副会長

- 合計特殊出生率について、2045年までに2.13にしようという目標になっているが非常に高い目標である。
- 近年は、女性が働きやすい環境になりつつあるものの、女性がキャリアを積みながら仕事を続けていくということに対しては、まだまだ壁がある一方で、キャリアを積むことによって、晩婚化、未婚化がすすむということもある。
- 子育て環境を良くすることだけではなく、女性が仕事を続けられる働きやすい環境づくり、男性の育児参加の促進などについての考え方を教えてもらいたい。

北村企画課長

- 個別計画の1つとして、男女共同参画基本計画を策定しており、現在見直しを

すすめている。
その中で具体的な組み立てや政策を打ち出していく。

平塚委員

- 市の子育て関係の資料などにQRコードをつけて欲しいという声がある。携帯電話などで早く情報を手に入れることができ、便利と聞いているので、様々な資料に添付してもらうなどの体制を作ってもらいたい。

北村企画課長

- 市民などが必要な情報を、それぞれ適した状況で入手できるような状況にするということは非常に大切である。QRコードなどで情報がスピーディに入手できることは非常に良いことと考えており、具体的な取り組みについては担当部局と相談しながら推進していきたい。

議長（堀会長）

- 高山市行政改革推進委員会でも、先端技術の活用といった視点を踏まえて答申しており、更なる推進をしてもらいたい。

野中委員

- ひきこもりやニートなど全国的にも話題になっているが、高山市の状況はどのようなになっているか。
- 潜在的に能力のある方が様々な要因で外へ出られない状態にあり、難しい問題もあると思うが、労働力の確保などの面からも対策をとっていただきたい。

田谷企画部長

- 非常にデリケートな問題であり、全体としての把握ができていない状況であるが、相談体制の充実などにより、支援をすすめていく。

針山委員

- 現在、教育委員会では、教育振興基本計画の見直しの中でも不登校となっている児童・生徒に対し、学校復帰や出会い塾のほか、家の外での居場所づくりをすすめていくこととしている。
- 教育委員会の範疇だけではなく、福祉や生涯学習などの部局とも連携を図ってすすめていきたい。

西永委員

- 社会福祉協議会では、ひきこもりなどの方々を就労につなげていくため、労働局の認可を受け、事業所とのマッチングをすすめている。そのような取り組みも解決策の1つになるものと考えている。

谷口委員（連合岐阜飛騨地域協議会）

- 人権について、まちづくりの方向性1の中で男女共同参画の視点が、まちづくりの方向性2の中で、多文化共生の推進が記載されている。
- 労働団体の中でもLGBTの問題なども取り組んでおり、住みやすいまちづくりをすすめていくためには人権は大切であり、分けて書かれるよりも項目としてまとめるべきではないか。

田谷企画部長

- 基本計画の変更案において、まちづくりの方向性1では若者や女性、障がい者、外国人など「誰もが能力を活かしながら生きがいを持って働くことができる環境」、まちづくりの方向性2では「多様な文化や価値観への理解」や「個性や特性を尊重」など、様々な視点で記載している。

加藤委員

- 人権は広範囲にわたっていること、一般的には難しいと捉えられがちであり、計画書の中に直接記載しても理解されない場合が多い。
- 人権擁護委員協議会としての立場で計画書を読ませていただいたが、先の説明のほか、いじめに対する問題なども取り上げていただくなど、様々な箇所に記載されており、総合計画としてはこのような形でよいと思う。

谷口委員（飛騨農業協同組合）

- 全体的には、この方向性でよいと思う。
- 農業について、まちづくり戦略1-(4)の重視すべきポイント④では、「安全、安心な食の産地づくり」と記載されているが、現在、農畜産物において安全、安心は当然のことである。
- 安全、安心に加え、美味しさ、ブランド力、安定供給など他にも大切な要素も多いため、表現についてはご検討いただきたい。
- 具体的な政策などは、個別計画や実施計画などにおいて示していくということであるが、市と目指す方向性は飛騨農業協同組合も同じであり、関係団体や実施主体などご相談いただきながらすすめていってほしい。

田谷企画部長

- 表現については、検討させていただく。

下山委員

- 全体的には妥当な計画と感じている。
- 人口減少、少子高齢化に対し、人口を増やすといったポジティブなことも大切と思うが、現実的に人口が減っていく状況を受け止め対応していくということも総合計画として大切であると思う。
- 子どもが進学などで一旦市外に転出し、高山の良さを改めて感じて戻ってくることもあるが、そのままとなる場合も多い。
- 逆に他の地域から高山の良さを感じて移住する方も増えてきていると感じている。
- 子どものうちに家族の会話や地域とのつながりの中で、高山の魅力を感じてもらうことが大切であり、我々の使命ではないかと感じている。
- 市は観光に力を入れすぎているのではないかという声もある。
- 市の全体のバランスがうまく取れているかということは市民の不安の一つであるので、市のバランスシートなどを計画書の資料としてつけていただくのも良いと思う。

議長（堀会長）

- 観光の予算については、年間約6億円であり、そのうちの観光施設関連が約3億円、観光振興に対しては約3億円といった状況。観光振興については財源として入湯税が充てられている状況である。

田谷企画部長

- 総合計画の見直しにあたり、分野横断的な視点をもってすすめており、全体的なまちづくりの方向性が分かりやすい形とすることを意識してきた。特に観光を前面に打ち出したものにはしているわけではない。まちづくりをすすめる中で、魅力が増し、結果として観光などの分野にもつながっていくという考え方も持っている。
- 人口については、今後減少していくという予測をしている。現在の8万9千人が、推計では2045年に6万2千人となっているが、様々な施策をすすめることにより、7万1千人程度に維持していきたいという考えである。
- 人口の年齢別構成について、年少人口、生産年齢人口の増加を目指すことで、持続可能なまちづくりにつなげていくという点を重視している。

鴻巣委員

- 農業委員会では、これまで高山市の盛んな農業を維持していくため、農地の取り扱いについて農地法の規定を厳格に守ってきた。しかしながら、移住者の意向や農業の担い手の減少など、小規模な農地活用に対し、もう少し柔軟性を持ってすすめて行きたいと考えている。

唐谷委員

- 林業については100年先の森林づくりをすすめるということで、現在、各地域での意見交換会を行いながら森林整備計画の見直しがすすめられている。
- 林道、作業道が台風などの風水害や倒木により、利用できなくなっている場合がある。
- 県の支援制度もあるが、非常に少額であり、市の事業としても支援を考えていただきたい。
- 森林の境界明確化については、森林環境譲与税を活用しながら昨年も荘川地域などで実施している。所有者の高齢化もあり、早急に実施しなければならないと感じており、森林組合として努力しているが、民間のコンサル会社での実施なども含め、更なる推進について検討してもらいたい。

田谷企画部長

- 森林整備について同様の内容を地域の意見交換会でも伺っている。
- 現在、森林整備計画の見直しもすすめており、その中でも森林環境譲与税の活用と森林境界の明確化、所有者不明土地の増加などが大きな課題としてクローズアップされている。
- これまで、農地については農業振興地域整備計画、森林については森林整備計画、都市計画区域内の土地利用については都市基本計画でそれぞれ方向性を示していた。今回の見直しにおいては、都市基本計画の対象を全市域に拡大し、それぞれの計画と整合させる形としており、それぞれの分野を守るだけでなく、地域のまちづくり、または高山市全体のまちづくりを考えていく形をとっている。
- 農業振興地域の取り扱いについて、これまでのルールや手続きなどを柔軟に見直していくということは、市としても同じ認識であり農業委員会でもご議論いただき、共により良い方向を見出していきたいと考える。

松葉委員

- 市商連女性部で毎年ベビーカーを使つてのイベントを行っているが、鍛冶橋の交差点付近の歩道は段差が大きく幅員が狭くて利用しにくい。観光客も多いた

め、ベビーカーや車椅子でも安全に通行できるよう改良をお願いしたい。

- 「かんかこかん」というコミュニティ施設を運営しており、たくさんの方が利用されているが、子どもはこれ以上持ちたくないと言われる方が少なくない。
- 経済的な問題、家庭の環境、配偶者とのつながりなど、様々な要因があるのではないかと感じている。

村上委員

- 基本理念として協働、創造、自立した高山市をつくっていく考えは良い。
- 環境問題に関し、地球的な規模から身近な生活に関する事まで、様々な問題が出てきていると思う。広報活動をより良くし、市民誰にでもわかる環境対策をしていただきたい
- 個人的な意見であるが、自然豊かな原山の環境を活かした取り組みをすすめてもらいたい。原山までのアクセスの向上はもとより、植物をテーマにした資料館の整備など、子どもから大人まで楽しめるような場所にしてほしいと思っている。

中田委員

- 長寿会で行ったアンケートでは、70歳以上でまだ働きたい方が約8割、今住んでいる地域で最後まで住みたい方も8割程度いる。
- 高齢者は社会貢献や働く場を求めており、放棄された農地の活用なども含め、高齢者も生き生きと活躍できる場、子どもたちと触れ合える場の創出をお願いしたい。
- 七日町から本町にかけて閑散としている状況である。古い町並周辺から足が伸ばせるような施策や都市計画で外観を整えるなど、個別計画や実施計画の中で具体的な取り組みをすすめてもらいたい。

澤田委員

- SDGsに向けた取り組みに対する認知度がまだ低いと思われるので、今回の総合計画においては、市民に対するわかりやすさというのが重要な要素と認識しており、SDGsについて、読み仮名をつけることや、説明を前のページに持ってくるなどの工夫をしてもらいたい。

田谷企画部長

- 計画書について、分かりやすいものとなるよう工夫していきたい。
- SDGsについては、今回の総合計画のほか、産業振興基本計画などの個別計画にも位置づけている。また、中部大学と連携して市民向けの勉強会や市内の

SDG s を研究する民間団体などとの連携など、積極的に取り組んで行きたい。

議長（堀会長）

- 全体としてはこの計画内容で適当ということによいか。そのうえで、本日皆さまからいただいたご意見を踏まえ、答申書を作成したい。なお、答申書に関しては、私と副会長にご一任いただければと思うがよろしいか。

委員一同

- 異議なし

6. 閉会

田谷企画部長

本日及びこれまでの審議会における審議に対するお礼を述べる。

第2回 高山市総合計画審議会 委員名簿

	団体等名称	役職等	委員	出欠
1	高山市観光連絡協議会	会長	堀 泰則	
2	高山商工会議所	副会頭	蓑谷 雅彦	
3	高山金融協会	会長	澤田 大輔	
4	高山市商店街振興組合連合会	副理事長	松葉 早百合	
5	連合岐阜飛騨地域協議会	事務局長	谷口 寛子	
6	高山市農業委員会	会長	鴻巣 明久	
7	飛騨高山森林組合	代表理事組合長	唐谷 清司	
8	飛騨農業協同組合	代表理事専務	谷口 寿夫	
9	高山市快適環境づくり市民会議推進委員会	委員	村上 千恵	
10	高山市景観町並保存会連合会	会長	川上 幸夫	欠席
11	高山市教育委員会	教育長職務代理者	針山 順一郎	
12	高山市社会教育委員会議	委員	京極 範子	
13	(一社)高山市文化協会	事務局長	関 善広	
14	社会福祉法人高山市社会福祉協議会	会長	西永 由典	
15	高山市民生児童委員協議会	副会長	平塚 外美	
16	高山市連合長寿会	会長	中田 幸男	
17	高山身体障害者福祉協会	理事	益田 美貴子	
18	(一社)高山市医師会		荒谷 睦	欠席
19	高山国道事務所	所長	竹島 大祐	欠席
20	(一社)岐阜県建築士事務所協会	飛騨支部長	野中 隆平	
21	高山市消防団	副団長	西 明浩	欠席
22	高山市町内会連絡協議会	議長	中畑 稔	
23	三枝の郷まちづくり協議会	会長	下山 哲正	
24	国府町まちづくり協議会	会長	橋戸 須美子	
25	(公社)高山青年会議所	理事長	池田 憲一	
26	高山人権擁護委員協議会	委員	加藤 雅宏	